

## 事例から論文の読み方を学ぼう

定量的に実施された研究論文を読むことは、臨床的疑問を解決する有用な方法の1つです。そのためには研究デザインや統計学の知識が必要です。論文を読むには、「明らかにしたい研究仮説」と「研究デザイン・解析方法」を対応させて、構造的に論文を読むトレーニングが重要です。もちろん、臨床的な用語だけでなく、統計的な用語を知っていることで、より論文を構造的に理解しやすくなります。

内容	量的研究の研究デザインと統計学の基本的な考え方を学んだあとに、実際に論文を読解することで、量的研究の理解を深めるというステップを踏みながら、論文読解力を高めていきます。
対象者	看護系大学・大学院の学生・院生・教員、看護師、保健師を中心に、医師・栄養士等を含むすべての医療従事者 (量的研究から得られる知見を実践で活かしていきたい方など、どなたでも受講できます。)
開催日時	2024年7月20日(土) 10:00~16:00
開催方法	ビデオ会議ツールZoomを使用したライブ配信セミナー ※終了後14日間のオンデマンド配信。
受講料	11,000円(税込) (医療職のための統計セミナー)
申込方法	厚生労働統計協会ホームページ内、「医療職のための統計セミナー」ページ ( <a href="https://www.hws-kyokai.or.jp/seminar/kango.html">https://www.hws-kyokai.or.jp/seminar/kango.html</a> )の申込みフォームからお申し込み下さい。 *お支払いにはクレジットカード支払い、又は請求書払いが利用できます。
申込締切	2024年6月25日(火) (定員(200名程度)になり次第終了)



日時	プログラム・講師名
<b>2024年7月20日(土)</b>	
10:00~10:20 講義①	●「ヘルスケア分野における量的研究の役割」 友滝 愛 (東京大学大学院医学系研究科グローバル ナースングリサーチセンター 特任研究員)
10:20~12:00 講義②	●「統計的観点から説明する量的研究概論」 坂巻 顕太郎 (順天堂大学 健康データサイエンス学部 准教授)
13:15~16:00 講義③	●「論文を読んでみよう(実践編)」 森田 光治良 (東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学専攻 看護管理学/看護体系・機能学分野 講師)

※詳細はホームページをご覧ください。

# プログラム

配信日：2024年7月20日（土）

時間	講義科目
10:00~10:20	<b>講義① ヘルスケア分野における量的研究の役割</b> 講師：友滝 愛 東京大学大学院医学系研究科グローバルナースングリサーチセンター 特任研究員 <p>「ケアを数値で評価するのは難しい」「患者の個性は数値では評価できないのではないか」「量的研究は苦手」といった悩みや疑問の声をよく聞きます。もちろん、臨床的な疑問を明確にするための質的研究も重要ですが、臨床的な疑問を解決するためには、量的研究も必要です。関心のあるテーマの論文を探してみると、誰しも一度は量的研究を目にすることになります。</p> <p>実際の臨床現場では、複合的な要因により、様々な事象が生じています。これを「測定」というフィルターを通すことで、関係性を明示的に記述したり推測することができます。また、研究としてデザインして測定することで、ある程度のエビデンスレベルで説明できるのが量的研究のメリットです。このような知見の蓄積が、未来の医療を支える根拠の1つとなります。</p> <p>この講義では、「量的研究の論文を読む知識スキルの向上が、明日の臨床実践や将来の研究にどのように役立つのか」を理解することを目指します。</p>
10:20~12:00	<b>講義② 統計的観点から説明する量的研究概論</b> 講師：坂巻 顕太郎 順天堂大学 健康データサイエンス学部 准教授 <p>臨床現場では様々な疑問 (clinical question) が生じます。その疑問を解消するために、科学的に答えられる疑問 (research question) に翻訳し、答えをデータから探索・検証することを多くの研究者が行い、論文にまとめてきました。このような論文を書くためだけでなく、論文を読むためにも、統計的な知識は必要になります。データをどう集めるのか、集めたデータをどう解析するのか、解析した結果をどう解釈するか、といった観点をもつことで、論文から見えてくる世界が変わってきます。</p> <p>本講義では、主に、治療やケアなどの介入の効果や影響の評価を目的とする量的研究の論文を例に、論文を読むときに知っておくとよいポイントを統計的観点から解説します。</p>
13:15~16:00	<b>講義③ 論文を読んでもみよう（実践編）</b> 講師：森田 光治良 東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学専攻 看護管理学／看護体系・機能学分野 講師 <p>論文には一定の書き方が存在します。論文の書き方に沿った論理展開を追いながら論文を読んでいくように心がけることが論文を読めるようになるための近道です。</p> <p>また、研究方法や統計で知らない専門用語に遭遇したときも、研究方法と分析結果の対応を意識した読み方が役立ちます。</p> <p>この講義では、実際の論文を取り上げ、どのように論文を読んでいけば良いのか解説します。</p>

- 講義後、音声やQ&A※1での質問が可能です（講義①は除く）。  
（質問はライブ配信時のみ、講義内容に関するものに限ります）。
- ライブ配信を見逃した方、復習したい方は、オンデマンド配信も視聴できます。  
オンデマンド配信期間 2024年7月24日(水)~8月7日(水)（14日間）※2

※1 ビデオ会議ツールZoomのQ&A機能です。

※2 動画の録画状態により、配信期間を変更させていただく場合があります。

Zoomは、Zoom Video Communications, Inc. の米国およびその他の国における商標又は登録商標です。